

知恵および神への畏れ

アシェル・イントレータ

2014年8月8日



知恵とは、何が行なうべき正しいことなのかを知る能力です。正しいことを行なう前に、それが何かということを知るべきです。神さまが、ある人が本当に正しいことをしたいと望んでいるのをご覧になる時には、神さまはその人に理解を与えます。(ヨハネ 7:17)

ある人が知識的な興味のためだけに知りたい場合は、神さまにとって、その人に知恵を与える本当の意味がありません(マタイ 11:25)。私たちが本当に正しいことをしたいと思いながらも、何をすれば良いかわからないとき、神さまは喜んでそれを示してくださいます(エペソ 1:17、ヤコブ 1:5)。

知恵を求めることの最初の部分は、私たちの自然な欲望に反しますが、知恵の初めは YHVH (神さまの御名) への畏れです(詩篇 111:10、箴言 1:7)。YHVH への畏れとは、神さまは罪を裁く方で、私たちは全て罪を犯したのです。

イエシュア (イエスさま) は、YHVH への畏れを死の後にある地獄での終わることのない刑罰に対する恐れに喩えています(ルカ 12:5)。それが神に対する畏れの底辺を成すものです。

しかしその同じ章句の中に、イエシュアは、人であれ状況であれ、何に対しても恐れないと7回も語っているのです(ルカ 12:4, 7, 11, 22, 26, 29, 32)。神への畏れは、人生の中の他のどんな種類の恐れをも消滅させてしまうのです。神さまへの畏れを持つということは、あらゆる危険のなかにあっても恐れを知らないということなのです。ということは、神さまへの畏れは、「高潔な勇気(moral courage)」であるといえます。

神が悪を罰するという事に気付いた時、私たちは次の事を行なうことができます：

1. 私たち自身で間違った事をするのを止める

2. 他人の内にある悪に対して恐れない
3. この世の悪と闘う。

箴言 8:13 –主を恐れることは悪を憎むことである。

残念ながら、私たちの殆どは自己中心的である事に能動的で、悪と闘う事には受動的で、神さまへの畏れは、まず自分自身の内に、次いで他人の内に、拒否する積極的な力を与えてくれます。「悪に勝利するために必要なことは、良い人が何もしない事だけだ。」といわれています。YHVH への畏れは、悪と闘うための高潔な勇気を与えてくれます。

神さまへの畏れは知恵の「初め」ですが、多くの人にとって、神への畏れは、知恵が理解されるための最終手段になっていないでしょうか。私たちはイエシュアがそうなさったように、早朝に涙と呻きをもって習慣的に行なう祈りのなかで、YHVH への畏れを追求していきましょう (エレミヤ 5:24、ヨブ 28:28、マルコ 1:35、ヘブル 5:7)

ガザ戦争の統計



3 人のイスラエル人市民死亡

83 人の市民が負傷

64 人のイスラエル兵士が死亡

1,637 人の兵士が負傷

イスラエルへと続く 32 カ所のトンネルを破壊

ガザの 4,762 カ所の軍事施設に命中

イスラエル側の作戦費用 55 億ドル

ガザから発射されたロケット 3356 発

2532 発は空き地に着弾

116 発は人の居住エリアに着弾

119 発は照準ミスでガザ地域内に着弾
578 発はアイアンドーム（ミサイル迎撃防衛網）により迎撃

現在 10 のアイアンドームシステムが使用中
1 回のアイアンドーム迎撃に掛かる費用=50,000 ドル
プラス 10 億ドルがアイアンドームのため米国により資金供給

1,875 人のガザ人死者
900 人はハマス活動家
430 人が子供
480,000 人のガザ人は自宅から撤退
82,201 人のイスラエル予備兵が召集

ナタネルハウスでのアウトリーチの夕べ

エディー・サントロ



それは洗礼者ヨハネの出生地の村、エインケレムの丘陵地帯での素晴らしい夏の夕方でした。私たちのCongregation（教会）の2人の賜物に恵まれた伝道者、ラヘルとギラドは豪華な自宅を開放して、おいしい食事、素晴らしい音楽、愛に溢れたフェロシップによる夕べを開きました。80人以上の人が訪れ、20人足らずが私たちのCongregationから参加しました。その集会はあらゆる意味において特別でした。ラヘルにより大胆な、イスラエルの救い主、メシアであるイエシュアへの信仰宣言で始まり、私たちは伝統的なパンとワインでの祝福で「カバラット・シャバット」（安息日の始まり）を楽しみました。この短い儀式の後、その夕方のひと時は、自然と信者と未信者の間に個人的な関係を築く機会へと導かれていきました。証しが語られ、病気の方が祈られ、地元のミュージシャンの方によるイスラエルの音楽が奏でられ、皆ごちそうを堪能したなかで、1人の女性がイエシュアを受入れる祈りをしました。これからも続いていく関係が築かれたので、私たちは次のイベントを計画しています。

イエシュアが天の家を離れ、この地上に来られたのは、失われた人々を救うため、天に昇られる前に、主が私達を主の代理人として召さ(呼ば)れたのは、この「大宣教命令」のためでした。私たちの心には、この御計画を植え付けられていることを覚え、アハヴァット・イエシュア・Congregationのメンバーたちの新たな勇気のためにお祈りください。また、ナタネルハウスでのアウトリーチを拡大していくための経済支援の募金のためお祈りください。募金される方は[こちら](http://reviveisrael.org/donate/)をクリック。

<http://reviveisrael.org/donate/>

アシェルとスティーブン・ホウリー-GodTV に出演



先日、アシェルは GodTV で、アラブ人牧師スティーブン・ホウリーとともにインタビューを受けました。司会者のウェンディー、ロリーと手を取り、①ハマスの解体、②エジプト、イスラエル、パレスチナ当局間の協力、③中東における新たな信仰の季節のため祈りに導かれました。この戦争はユダヤ人対アラブ人というものではなく、光と闇の間の闘いなのです。インタビュー（40分48秒から）を見るには[こちら](http://www.god.tv/rory-and-wendy/video/behind-the-screens/middle-east-in-crisis-day-4)をクリック

<http://www.god.tv/rory-and-wendy/video/behind-the-screens/middle-east-in-crisis-day-4>

韓国史上初のイスラエル支持デモ

シャウル・ビュンヒュン・ゴ



韓国では、イスラエルに軍事的紛争が発生するたびに反イスラ

エルデモが起っていました。イスラエルの国旗を燃やすものもありました。しかし最近、初めて韓国人信者たちが立ち上がり、公然とイスラエルへの支持を表明するのを見たのです。最初は、ユダヤ的教育法に興味をもつ何人かのクリスチানের母親たちが、韓国でのイスラエルに関するニュース報道は偏見に満ちていることに気付きました。彼女たちはパンフレットを作成し、色々な場所でのキャンペーンの実施を計画しました。彼女たちの集会はソウルのイスラエル大使館の前から始めていき、京畿道（キョンギド）のあらゆる箇所で展開していききました。彼女たちはその大使館前でのキャンペーンを毎週行ない、他の都市でもやっていく計画です。今メディアから、とてつもない程の反撃にあい、ツイッターやフェイスブックで悪意ある攻撃にさらされています。どうぞ、この運動のため、そしてより多くの韓国人クリスチャンがイスラエルのため執り成し、立ち上がりますよう、お祈りください。